

# 世界遺産 国宝 姫路城と姫路城石垣の見学



姫路城  
世界遺産登録  
30周年記念

2023年 9月29日 (金)

< 1部 > 姫路城内見学

< 2部 > 姫路城石垣見学

## ・ 姫路城について

姫路城は、慶長年間に建てられ、日本独自の城郭建築の技術が最高潮に達した時期の最も完成された城とされています。

昭和26年には国宝に指定、平成5年には日本ではじめてユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されました。 (はくろじょう)

また、白漆喰で塗り込めた優美な姿は、飛び立つ白鷺に例えられ、白鷺城とも呼ばれています。平成21年から約5年半、約50年ぶりとなる改修を終え、一層白く美しく生まれ変わりました。

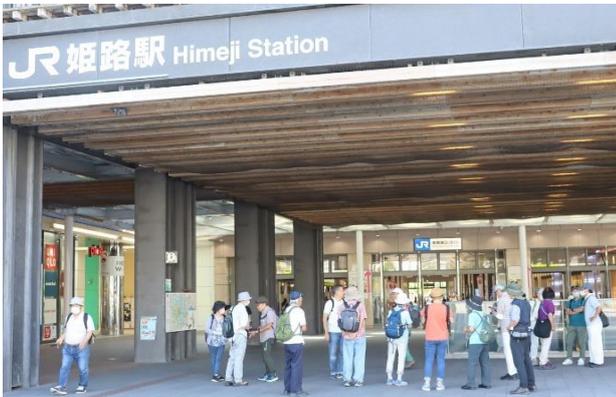
今年度の姫路城の探訪は、1回目は大雨警報で中止、2回目は熱中症警戒アラートの発表でもたも中止、今回の3回目で、やっと実施可能となりました。

只、当日は、JRの信号故障の発生により、集合時間を遅らせての、スタートとなりました。

## < 1部 > 姫路城内見学

姫路駅からは、大手前通りを徒歩で、お城に向かいました。

1



J R 姫路駅城口（北口）に集合

2



J R 姫路駅正面にお城が見えます

3



お城に近づいて来ました

4



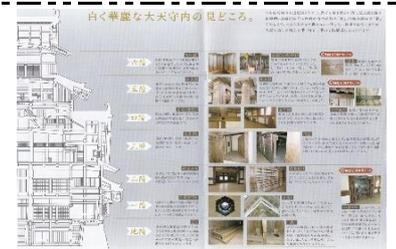
三の丸広場からの姫路城

班毎にガイドさんと入城しました



入城券

入口でいただいた  
パンフレット

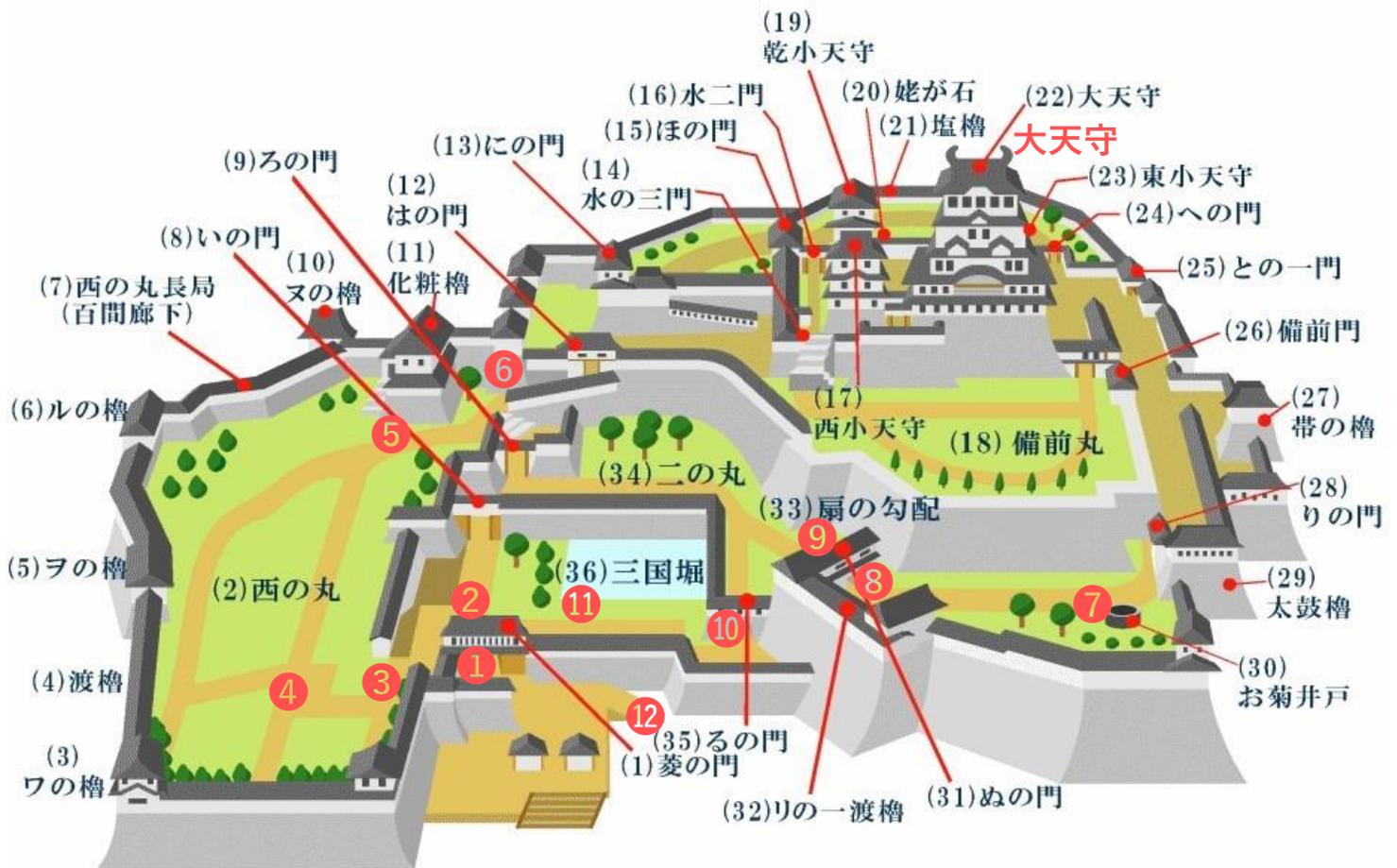


ガイドさんの説明を聞きながら、①～②～③～④～⑤～⑥へ坂や石段を通りながら歩いて、進みました。途中では、海外からの観光客が多いなと感じました。

**大天守内は、履物をビニール袋に入れ、手に持つての見学です。**

大天守内は、地階～一階～二階～三階～四階～五階～六階へと一方通行の階段を上りました。犬山城の階段よりかなり楽に上り、下りできました。

大天守を下りて再び靴を履き⑦～⑧～⑨～⑩～⑪を通り⑫で終わりました。



① 菱の門



② 菱の門からの姫路城



③ 菱の門の屋根越しの姫路城



④ 西の丸の撮影スポットからの姫路城

5



化粧櫓

6



化粧櫓付近からの姫路城

大天守



東大柱 (地階)

大天守



西大柱 (地階)

大天守



東大柱の根接ぎ部 (1階)

大天守



天守の外が見えます (1階)

大天守



武具掛け (2階・3階)

大天守



姫路駅を望む

7



お菊井戸

8



明治の鯨

昭和の鯨

平成の鯨

(りの二渡櫓で展示)

9



ぬの門東方の「鏡石」人の顔に見えます

10



右がⅠ期・左がⅡ期石垣の境界

11



三国堀越しの姫路城 石垣はⅠ期とⅤ期

12

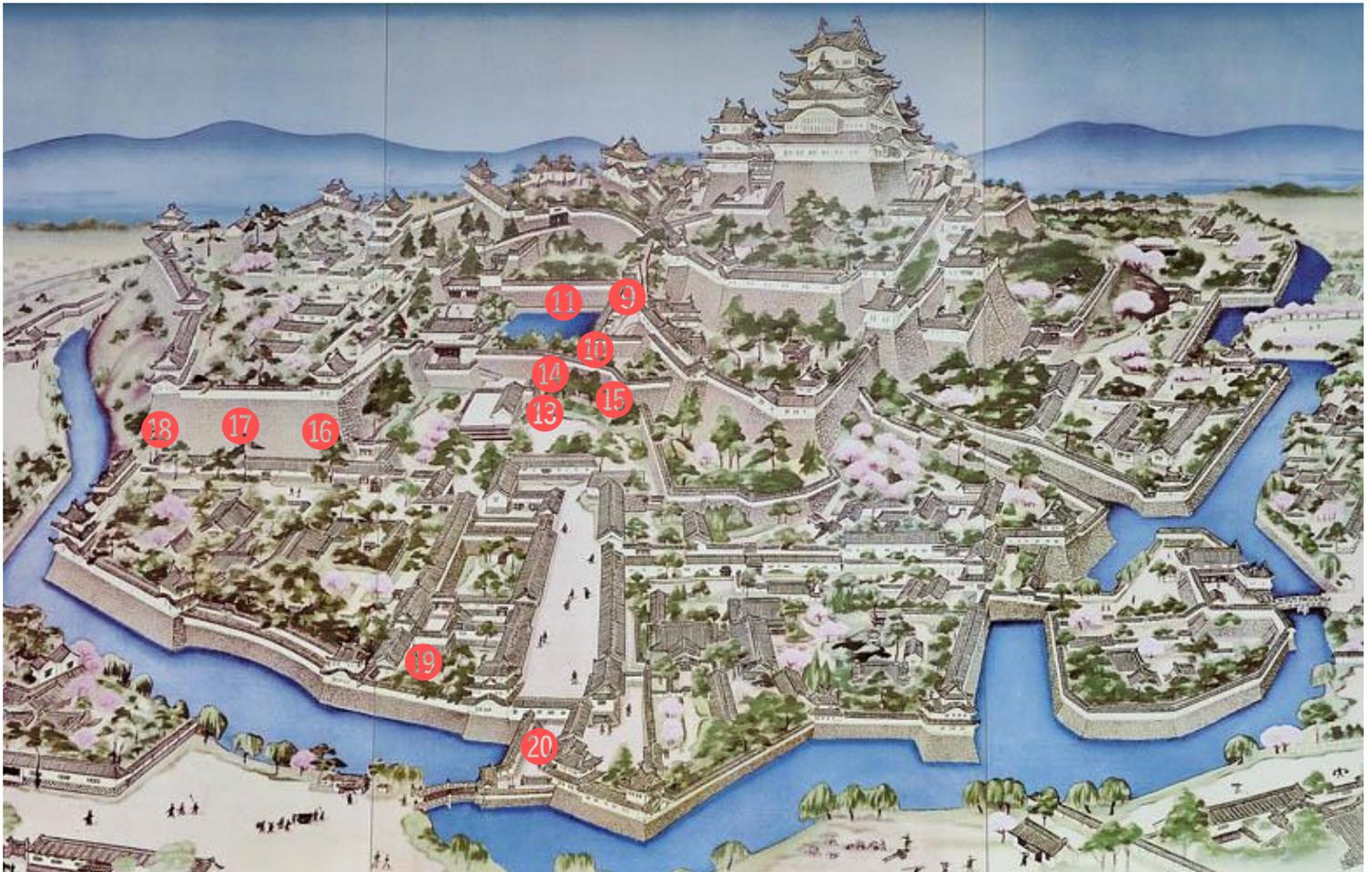


ガイドさんと記念撮影

## < 2部 > 姫路城石垣見学

続いては、姫路市立城郭研究室の小柴さんの案内で、姫路城の石垣について、見学をしました。

1部の続きで ⑬ ~ ⑭ ~ ⑮ ~ ⑯ ~ ⑰ ~ ⑱ ~ ⑲ ~ ⑳ の順に行きました。  
(図の中の⑨、⑩、⑪は1部の中で訪れた石垣です)



13



👉 小柴さんの案内で見学スタート

14



👉 菱の門東方（Ⅰ期）

16



👉 西の丸ワの櫓東方（Ⅲ期）

18



👉 西の丸ワの櫓（Ⅲ期）

20



👉 大手門北「斧の刻印」（Ⅴ期）

## 姫路城石垣の変遷

姫路城の石垣は、羽柴秀吉築城時の石垣に始まり、明治以降の修理石垣まで、時期別に大きく5期に区分されます。

- 【Ⅰ期】… 羽柴秀吉築城時の石垣。本丸から二の丸にかけて、野面の古式石垣が多く残る。[天正8～10（1580～82）年]
- 【Ⅱ期】… 関ヶ原の戦い後、池田輝政が築いた石垣。天守丸の打込みハギの石垣に代表される。[慶長6～14（1601～09）年]
- 【Ⅲ期】… 本多忠政の改修工事による石垣で、西の丸南半部に良好に残る。技法的にⅡ期石垣に似る。[元和4（1618）年頃]
- 【Ⅳ期】… 江戸時代の補強・修理石垣。[～慶応3（1867）年]
- 【Ⅴ期】… 明治以降の修理石垣。[明治7（1874）年頃～]

15



👉 菱の門東方（Ⅰ期）

17



👉 矢穴の痕跡が残る石（Ⅲ期）

19



👉 武蔵野御殿跡（Ⅲ期）

20



👉 大手門北転用材の「石棺」（Ⅴ期）

あと数日で10月ですが、好天で暑すぎる城探訪日でした。お疲れさまでした。